# 令和２年度　荻げんきこども園経営構想

## 【　理　念　】

人や自然との豊かなかかわりの中で

「生きる力」を育む

### 園経営の基盤

○教育基本法・児童福祉法及び認定子ども園法その他の法令

○幼保連携子ども園教育・保育要領の示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

○「おおいた子ども・子育て応援プラン（第３期計画）」

○第２次竹田市地域福祉計画、第３次竹田市地域福祉活動計画

### 社会からの要請

○就学前の子どもに教育・保育を提供する機能の充実

○地域における子育て支援環境の充実

### 【園経営の基本方針】

１　子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切にし、成長と個性に応じた多様性のある教育・保育を行う。

２　多世代との交流を通じ、基本的な生活習慣や態度を学び、思いやりの心、感謝の心を育てる。

３　様々な体験を通して、豊かな感性を育て創造性の芽生えを培う教育・保育を目指す。

４　創意工夫により教育・保育をすすめ、子ども・保護者・地域に信頼されるよう努める。

５　地域に根ざした子育て支援を展開する。

### 子どもの課題

○我慢強さに欠ける

○集中して話を聞こうとする姿勢、「静と動」のけじめに欠ける

○メリハリのある行動、あいさつができない

○長時間の姿勢の維持ができにくい

○発達特性に応じた支援体制

### 地域の課題

○進む少子高齢化

○子育て世代の多様な就労環境により、子育てに悩む家庭が増加

○核家族化による、多世代間の交流の希薄さ

○こども園から小学校への円滑な接続

### 【教育・保育目標】

やさしく　かしこく　たくましく

やさしさ・・・思いやりの心・他者理解・豊かな感受性・協調性・規範意識・信頼

かしこさ・・・好奇心・探求心・思考力・言葉・表現力・創造力・課題解決力

たくましさ・・・体力・あきらめない心・しなやかな心と体・意欲・健康安全

### めざす子ども像

○命を慈しみ感謝の気持ちを持てる子ども（やさしさ）

○感性豊かで、思いやりのある子ども（やさしさ）

○よく見て聞いて考えて行動する子ども（かしこさ）

○粘り強く、最後まで頑張る子ども（かしこさ、たくましさ）

○明るく元気で、あいさつのできる子ども（たくましさ）

### めざす子ども園像

○子ども・保護者にとって安心・安全で通うのが楽しい（通わせたい）こども園

○一人ひとりのよさや可能性を伸ばすこども園

○地域から愛され・期待され・大事にされるこども園

○職員が働くことに生き甲斐と誇りを持てるこども園

### めざす職員像

○子どもに愛情を持ち、一人ひとりを励まし伸ばす職員

○使命感・責任感を持ち、自己研鑽に励むに励む職員

○フットワーク・ネットワーク・チームワークのある職員

○特色ある園経営への参画意識のある職員

○豊かな人間性を備え保護者地域から信頼される職員

**【本年度重点目標】**　○「話を聞く態度」の育成　○「運動に向かう態度」の育成

## 【　保　育・教　育　の　特　色　】

| | | |
|---|---|---|
| ◎食農保育<br>こども農園での栽培・収穫体験、自園の野菜を使ったクッキング、食育の推進　→　食の大切さ、食への感謝の心、命の大切さを学ぶ。 | ◎幼児体育<br>体育教室、さくらさくらんぼリズム、体育的行事の充実　→　運動に向かう姿勢、体幹や柔軟性、俊敏生、巧緻性を養成する。 | ◎多彩な体験活動<br>外部講師を招聘した各種体験活動（音楽教室・英語遊び・書道教室・茶道教室・演劇鑑賞・音楽鑑賞等）や体験的行事　→　豊かな感性、表現力、創造性を育成する。 |
| ◎インクルーシブ教育<br>一人ひとりの個性を尊重し、ともに育ち合うことを大切にするインクルーシブな環境を経験　→　お互いの違いを大切にする心を育む。 | ◎多世代交流<br>特に高齢者との交流活動、農業体験活動、高齢者福祉施設訪問　→「人の優しさ」や「人の暖かさ」に触れる。 | ◎小学校への円滑な接続<br>小学校への接続を意識した学びの基盤づくり（アプローチカリキュラムの推進ほか）。こ小連携（こ小連携協議会の推進、情報交換、交流活動） |